

'14. 8. 24

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

「第26回ろう教育を考える全国討論集会」報告

「第26回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」は、ろう教育の発展に寄与するために、毎年各県持ち回りで開催されているものです。今年は、8月2日(土)～3日(日)に日本大学文理学部校舎(世田谷区桜上水)で開催されました。

東京開催と言うことで、全国各地から事前申し込みと当日参加者を合わせて500名を越える方の参加がありました。

ろう教育は従来の聴覚口話法に加え、手話の導入、人工内耳の普及、特別支援教育の影響などで多様化してきていることを考えると、幅広い視野からのものの見方や考え方を学ぶ必要があります。

幼稚部・小学部・中学部で、どのように書記日本語を獲得させるかが重要な課題です。ろう教職員トークセッションでは、ろう学校の現場で奮闘をしているろう教員5名の方をお招きし、当事者の視点でろう・難聴教育の本音を語って頂きました。

それぞれの学校での特色をお聞きし、いろいろと考えさせられました。

本集会では、二日間で115名の方に要員としてご協力を頂くことができました。暑い暑い猛暑の二日間でしたが、本当に有り難うございました。

2012年12月に準備委員会が発足してから、本集会までの本当に長い1年8ヶ月が終わりました。都サ連からの実行委員として参加し、紙面では書ききれないくらい、多くの都サ連の方々から助けられていることを実感することができました。心より感謝申し上げます。まだまだ暑い日が続きます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

(文責 高田)

たましろの郷後援会役員会

事務局から 2014年度会員数/個人830名(887口) 団体42(57口)

昨年同月に比べ、口数にして21口減少しています。今年度会費未納の方は、早めの振込をお願いいたします。また、各行事で入会のPRなど皆さまのご協力をお願いいたします。

たましろの郷夏祭り 7/26(土) 多くのボランティアの皆さまに支えられて、今年も無事開催することができました。ご協力、ありがとうございました。

手話で語る戦時体験2014 8/7(木) 昼夜にて開催しました。たくさんの皆さまのご来場、ありがとうございました。今年度にて最終回となる戦時体験ですが、次年度からは新しいかたちで提供できるよう考えていきたいと思えます。また、過去の講演のDVDを販売中です。東京聴覚障害者自立支援センター等でお買い求めください。

たましろフェスタ in 府中 8/17(日) 府中グリーンプラザにて 講演やアトラクション、なかまの発表など盛りだくさんの企画。都サ連でもパンの販売をしました。たくさんの皆さまのご参加ありがとうございました。

たましろの郷見学バスツアー 9/27(土) たましろの仲間とゆっくり一日交流してみませんか? 参加申込は東京聴覚障害者自立支援センターのたましろの郷後援会まで!

たましろチューリップ 今年もチューリップやスイセンなどの球根の販売を開始しています! 「たましろの郷後援会」のHPにてきれいな写真で確認&申込みできます。サークルでまとめて申込みば送料が無料に! 来年の春、たくさんのたましろの花を咲かせましょう!

(文責 天野)

参政権保障委員会報告(2014/8/18)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。

●選挙におけるマニュアルについて

各地域の選挙に関するマニュアルおよび、バリアフリーに関するガイドを継続調査中。港区には「従事者心得」というものがあるらしい。バリアフリーに関するガイドは特になし。各市区に対する質問事項などがまとまったので、一斉にアンケートを行なう予定。

●手に言葉を! 「東京のろう運動と福祉」の執筆について 参政権保障委員会の立場から、参政権に関わるろう運動の内容や歴史などを執筆する予定。10月中に原稿を集め、その後レイアウトを行なう。

9月の会議は休みで、次回は、10月20日の予定。

(事務局 三村)

たましろフェスタ in 府中 ～模擬店出店への初挑戦報告～

7月事務局会議で、たましろフェスタ実行委員会からの模擬店出店依頼について検討され、挑戦することが決まりました。

今まで都サ連は、各イベントで要員としてのサポートを担当していましたが、仕入れから販売までを行う模擬店出店は初挑戦となりました。

高田代表のお知り合いが経営するパン屋さんにご協力いただき、5種類のパン合計430個を用意しました。発注時から、「本当に完売できるのか？」不安と期待が入り混じった複雑な心境でしたが、実際は2時間半という短時間で完売することとなり、関係者一同、安堵と達成感で満たされました。

かわいいPOP作成、売り方のアイデア、販売ツールの準備、さらに「絶対に売れる！」と応援して下さった都サ連の皆様の励ましのお言葉のみならず、朝の搬入時にパンの箱の山をいかに運ぶか困っていた私に、使っていた台車を快く貸して下さり、販売場所まで一緒に運んで下さった、東聴連の方々のご協力など、団体を超えたご支援により、模擬店出店の初挑戦は、成功することができました。

これをきっかけに、関係他団体の方々と互いに支えあう関係をさらに強めて行ければと思います。

今回の収益は、たましろの郷へ寄付させていただきます。

皆様のご支援、ご協力に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

(港区手話サークル麦の会 遠藤有子)

第16回センターまつり報告

毎年、海の日(今年は7月21日)に開催されているセンターまつりですが、今年は、初めて実行委員として準備に加わりました。中でも一番印象に残ったのは、まつりのチラシを近隣にポスティングする仕事でした。6ブロックに分け、それぞれを1人が担当します。最近ではチラシお断りのマンションも多く、管理人さんと鉢合わせをして怪訝な顔をされたり、広い庭の奥の方にポストがあったりと、冷や冷やドキドキの経験でしたが、割り当ての枚数を全て入れ終えた時は、「やった！」とささやかな達成感を味わいました。今までに色々な行事のお手伝いをしましたが、ポスティングというのは初めてでした。このまつりは、自立支援センターの存在を地域住民の方々に広く理解して頂くことも目的の1つで、実際、チラシを見てバザー一品を提供して下さるお宅もあるとか…、それで納得です。

都サ連は、恒例のスタンプラリー＆福引きと似顔絵コーナーを担当しました。今年もまた快く実行委員を引き受けて下さったお二人を始め、今まで担当して下さった方々が、少しずつやり方を改善して下さりながら今年に至っているの、前々日の景品の袋詰め、当日の段取りなど、的確に指示を出して下さるお陰で、初めての私でも負担なく出来ました。当日要員の方々からも、お手伝いをしつつ交流も出来て良かったという感想を多く頂きホッとしました。

猛暑の中、2つの会場を飛び回ってお手伝いをして下さった皆さま、お疲れさまでした。スタンプラリー担当の全要員さんが押したスタンプの数は計1051個。福引きに来た方は344人。似顔絵コーナーは19人。そして全来場者は、約520人とのことでした。

来年は、あなたも実行委員を体験してみませんか？ きっと違った「まつり」が見えてきますよ。

(文責 河野)



自立支援センター運営委員会報告

○7月12日(土) 運営委員会

- ・補充の副運営委員長は渋谷区聴覚障害者協会の越川重夫氏、監査は東京手話通訳問題研究会の岡安澄子氏に決まりました。
- ・職業委託訓練7月で5人終了しました。2期8月からの募集をします。
- ・夜勤を募集しました。
- ・自立支援センターのシンボルマークの一般公募が始まります。
- ・災害時の自立支援センターの体制について検討していきます。
- ・8月運営委員会はお休みです。

○8月7日(木) 手話で語る戦時体験2014 赤坂区民センター たましろの郷後援会と共催

○8月18日(月) センターまつり実行委員会反省会

7月21日(月・海の日) 第16回センターまつりには500人を超える参加がありました。暑い中、19日からの準備、当日の要員、一般の参加にご協力ありがとうございました。

○特別講演会 いずれも14時から

申し込み先：自立支援センター 1,000円

- ・8月23日(土) 那須英彰氏「聾として生きる」リフレッシュ氷川
- ・11月23日(日・祝) 黄田規子氏「戦前・戦中・戦後に生きて」リフレッシュ氷川

*次回運営委員会 9月13日(土) 10時から

(文責 高田・杉石)